

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966



<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!

2020年2月1日号 Vol. **79**



瑠璃光寺(撮影/吉村哲明)

発災実動訓練 実施のお知らせ

令和2年3月8日(日)午前8:00~11:00、7町内会(荒高、上清水、中讃井、西門前・新橋、新道、早間田、米屋町町内会)が合同で「大原湖断層を震源とした地震が発生、山口市内にも大きな被害をもたらされている」という想定で訓練を実施します。ご理解、ご協力をお願い致します。



12:00~14:00

《起震車で地震体験》

白石地域防災 イベント開催!!

日時：令和2年3月8日(日)
11:00~12:00

場所：白石地域交流センター

集合場所：白石地域交流センター講堂 (2F)

参加無料

飛び入り
参加OK

申込
不要

みなさまの
ご参加を
お待ちしております

- 先着100名に防災グッズ進呈
- 防災クイズに挑戦
- 防災教室(防災講話) ...等



SLに向かって手をふろう!

3月の運行予定日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※○は運行日
11時過ぎと17時過ぎに白石地区内を通過します

沿線で、散歩中に、お宅から... SLにむかって、元気よく、笑顔でふろう! きっと、乗客のみなさんも笑顔で楽しんでくれるよ!
(※安全第一。線路に入ったりはいけません)

〈蒸気機関車(C57-1号機) 貴婦人〉新山口駅から津和野駅まで。
11時過ぎと17時過ぎに白石地区内を通過します。

3月20日(金・祝) イベント開催! 詳細は3月号にてお知らせします。



令和元年度自主防災士認定者紹介 白石地区に新たに1名の 「防災士」が誕生しました!

米屋町町内会の川口雄一郎氏が「防災士」資格取得試験に見事に合格され、日本防災機構から「防災士」として認証されました。

川口氏は防災アドバイザーとして、自主防災組織の運営・拡充に携わられます。

これで、白石地区の「防災士」資格取得者は22名になりました。



川口 雄一郎 氏

事務職員募集

締切
迫る!

地域づくり協議会では
職員さんを募集しています!

勤務地：山口市本町一丁目1-25 白石地域交流センター内

給与：時給880円(日額6,820円)

勤務日数・時間：週2日~3日(週20時間未満)

8:30~17:15 ※応相談

※必須：エクセル・ワードを使って文書資料等が作成できる方

応募書類：履歴書(白署)・職務経歴書

応募締切：令和2年2月14日(金) 17:15必着

選考等：書類選考のうえ、該当者へ面接日時をご連絡します。

採用予定日：令和2年4月1日(水)

お問合せ：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)

担当：桑原、二間 ※受付時間 平日8:30~17:15



ご応募
お待ちしております

第10回

御堀耕助邸

皇政復古七十年記念山口史蹟図は、山口県文書館のホームページでご覧になれます。



攘夷一直線

「元治二年乙丑正月廿八日改^{みたてたい}御楯隊姓名録」には、280人の隊士の名前が記載されていますが、その筆頭^{そうかん}に総管(総督)^{おおたいちのしん}・大田市之進の名前が見えます。彼こそが今回の主人公、後の^{みほりこうすけ}御堀耕助です。

天保12年(1841)7月7日、長門国萩に生まれた耕助は、18歳の時、江戸に出ると斎藤弥九郎が主宰する剣術道場、練兵館の門をたたきました。この道場では、これより先、長州藩の桂小五郎(木戸孝允)が塾頭を務めたことがあり、長州ファイブの中のひとり、山尾庸三も腕を磨きました。

ここで耕助も、次第に頭角を現すようになり、やがて塾頭まで上り詰めました。そこで4年間の修行を終え、長州へ帰国すると、世子^{もうりもとのり}・毛利元徳の小姓役に抜擢され、出世の階段を上り始めたのでした。

そんな彼の気性は激しく、直情径行型であったといわれています。元治元年(1864)8月、長州藩は英米仏蘭の4カ国連合艦隊と関門海峡で戦い敗北します。その後、講和に乗り出しますが、これに猛反対をしたのが攘夷論を唱える耕助でした。彼は、反対派の同志である山田顕^{やまだあき}義や品川弥二郎らと一隊を組織しようしますが、藩は彼らを危険視し、結隊を認めようとしません。そこで耕助は、同志とともに外国人を斬殺し、自分らは壇ノ浦の砲台で腹を切ると抗議します。この状況を知った藩政府員^{ひろさわまねおみ}の廣澤真臣は、藩政府と耕助らの間に入り大いに周旋し、やがて耕助を総管とする「御楯隊」結成の認可が下った

のでした。

こうして彼らは、慶応元年(1865)1月に起こった大田・絵堂の戦いでは、奇兵隊をはじめとする諸隊とともに保守派の萩政府軍を撃破。慶応2年(1866)6月に始まった四境戦争では芸州口に出征。幕府軍を相手に大いに奮戦しました。

翌慶応3(1867)年、御楯隊は^{こうじょうたい}鴻城隊と合併し^{せいぶたい}整武隊となり、三田尻に駐屯し耕助が初代総管になりますが、5月には山田に席を譲り、藩政府の軍務係専務となります。そして、明治2年(1869)5月には、藩命により、山縣有朋らとともに視察のため欧州へと向かいますが、渡航中に病を発したため帰国。明治4年(1871)5月13日、三田尻にて帰らぬ人となったのでした。享年31。一直線に生きた男の最期でした。

耕助はかつて、大内御堀にある乗福寺の近くに住んでいたと伝えられています。御堀耕助という名前も、この地名に由来するものと思われます。

彼の旧邸跡周辺から、大きく開けた南側を望むと、遠くに姫山が見えます。今から150年ほど前、耕助もここ御堀の地で、朝の光を真っ直ぐに浴びるあの山を眺めたのではないでしょう。わき目もふらずただひたすらに、赤き魂を燃やしながら。



遠くに姫山を望む(山口市大内御堀)

チャレンジ健康づくり講座 白石すっきりボディを目指す会開催!!

1月11日(土)、「白石すっきりボディを目指す会」も第6回目となりました。今回は健康運動指導士の澄川絵里奈氏を講師にお迎えし、「家事やお仕事をしながらでもできるエクササイズ」をテーマに実技を受けました。澄川先生の明るく元気な指導により楽しい講座となりました。



講師の澄川絵里奈氏



体を動かして
スッキリ!!

白石歴史探訪の会 講演会を開催しました 長州の西郷又は、 維新の十傑: 広沢真臣

1月18日(土)、^{こやまよしまさ}小山良昌氏を講師にお招きし、講演会を開催しました。



たくさんのご参加
ありがとうございます